

評価…A.たいへんよい B.よい C.一部検討を要する D.改善を要する

令和4年度		自 己 点 検		幼保連携型認定こども園長坂保育園		評 価			
		評 価 項 目		A	B	C	D		
I 福祉サービスの基本方針と組織									
1	○法人の理念、教育・保育理念を明文化しており、認定こども園の使命・役割を反映している	○							
コメント	マニュアルで明文化されており、ミーティングや園内研修などで確認をし反映できるよう努めている。								
2	○理念や基本方針が職員や利用者等に周知されている	○							
コメント	入園の際に説明をし、4月には教育保育課程を保護者へ配布している。職員にもミーティングや園内研修などで周知する取り組みを行っている。								
3	○施設長自らの役割と責任を職員に対して表明している	○							
コメント	朝礼や会議等で職員に伝えている。								
4	○遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている	○							
コメント	研修などがある際は参加し理解を深め、会議や回覧などで伝達している。								
II 組織の運営管理 (構築：基礎から順に組み立てて、しっかりと築くこと)									
1	○職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている	○							
コメント	必要に応じ話し合いが行われ職員間で相談しながら勤務の形態を変更するなどしている。働き方改革の話し合いをする場を設けたが、意見を交換する場をもう少し多く設けていきたい。								
2	○職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている	○							
コメント	新人・中堅等それぞれに合った研修に参加できるようにマニュアルに明示されている。								
3	○個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている	○							
コメント	研修計画があり、希望も聞きながら様々な研修に参加できる体制になっている。今年度も新型コロナウイルスの為、研修自体が少なかったがZOOM研修などに参加した。								
4	○定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映されている	○							
コメント	研修参加者は復命書を提出し、回覧をして全職員が見られるようにしている。また園内研修等で報告し、共有している。								
III 地域社会との連携									
1	○実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、育成について積極的な取組を行っている	○							
コメント	マニュアルに明記され、担当者も決められている。実習生の希望を聞きながら計画を立て、職員に周知している。実習ノートに所見を書き、毎日の反省会や責任実習、全体での反省会を行い、アドバイスをしている。								
2	○民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取組を行っている	○							
コメント	年長が史城根城まつりに参加した。根城地域の挨拶運動に職員が参加し、園児も玄関先で挨拶運動を行った。								
3	○近隣の人々に教育・保育について理解を得たり、協力を依頼する等の配慮をしている	○							
コメント	年2回の総合避難訓練では、近田会計事務所職員の避難誘導の協力を得ている。園の行事について、ホームページにも掲載する等している。								
4	○中高生などの職場体験を受入れるに当たり、受入れの意義や方針が全職員に理解され、受入れの担当者も決められている	○							
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。(今年度の体験者はいなかった)								

評 価 項 目		NO.2	A	B	C	D
5	○育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている		☐			
コメント	一時預かりや子育て支援の「ふれあい広場」、園庭・ルーム開放をしている。子育ての相談に応じている。					
6	○ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している		☐			
コメント	マニュアルに明記されて、担当者も決まっている。					
7	○認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、職員が共有している		☐			
コメント	変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。小学校や地域の手紙等も回覧し、情報を共有している。					
8	○園児の健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている		☐			
コメント	嘱託医がおり、年2回の健診時に相談に応じてもらっている。					
9	○育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている		☐			
コメント	マニュアルに記載され、相談できる体制になっている。関係機関の連絡先をワークルームに掲示している。					
10	○小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある		☐			
コメント	今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、小学生と園児との交流の場が少なかったが、年長児が根城小学校の音楽会に見学に行ったり職員が小学校の参観日に参加したりした。幼保小連絡会や情報交換会など小学校の先生と話し合う機会がある。					
IVサービスの実施						
1	○利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、記録の管理体制が確立している		☐			
コメント	マニュアルがあり、会議でも確認をしている。個人情報の管理の仕方について一人一人の意識を高めていく。					
2	○利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、また向上に向けた取り組みを行っている		☐			
コメント	意見箱を設置し、年に1度保護者にアンケートを取り、職員で共有し改善に向けた話し合いを行っている。また、クラスごとの参加日にも意見や要望を聞き、要望への回答を伝えた。					
3	○苦情解決の仕組みが十分に周知され、機能している			☐		
コメント	担当者が決められており、入園のしおりに記載され、説明の際にも伝え玄関にも掲示している。4月の父母の会総会でも伝え、苦情があった際には園だよりで報告する仕組みにもなっている。今年度から担当が変わった事を知らない人もいたので、周知していく。					
4	○利用者からの意見等に対して迅速に対応している		☐			
コメント	意見があった場合は園長・園長代理・副園長に報告し、その都度対応している。会議などでも話し合い職員間で共有している。					
5	○教育・保育の質の向上や改善のための取組みを職員参加により行っている (定例の会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に(年に複数回)意見を聞くための場を設けている)		☐			
コメント	毎月、職員会議・ワークミーティング・チームミーティング等を設け、取り組みを行っている。また必要に応じて話し合っている。全員が意見を言える環境を作っていく必要がある。					
6	○教育・保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている		☐			
コメント	ワークミーティングで、各クラスの月ごとの評価を行い、他の会議等でも行事の反省や見直しを行っている。必要に応じて不都合な点などを話し合い、改善している。また、年度末には1年間を振り返っての自己評価を行っている。					
7	○利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている (一人一人の園児の発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている)		☐			
コメント	見守るカルテや児童票に記録し、会議で共有している。0・1・2歳児は毎月の個人目標、3歳以上児は年に3回の保育目標を立てている。個人目標について話し合った後、一覧にしたので振り返りが出来た。					

評 価 項 目		NO.3	A	B	C	D
8	○利用者の状況に関する情報を職員間で共有している (一人一人の園児の発達状況、目標、教育・保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している)	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	一人一人の家庭状況、子どもの発達状況、個人目標など、会議やミーティング等で話し合う機会を設け、共有している。					
9	○情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	ホームページやかわら版で園の様子を伝えている。0、1歳児は週に1回、2歳以上児は毎日の活動をHPに載せている。お知らせ等も帳面や玄関に掲示し、モバイルメールでも、直接保護者へお知らせなどが届くようにしている。					
10	○入所にあたり、認定こども園が提供するサービスについて、利用者等にわかりやすく説明している	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	園長や副園長が園全体の説明、担任が個別の問診やクラスの説明をしている。見学に来た際は園内を回りながら説明をしている。年度の前半はコロナウイルス感染状況に応じてかわら版で説明するなどしていた。					
11	○一人一人の園児の発達状況に配慮した指導計画となっている	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	見守るソフトを活用しながら、0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。定期的に見守るチェックをしている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。計画は立てているがもう少し一人一人を把握していきたい。					
V 子どもの発達援助						
1	○教育・保育計画が、園の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	理念や保育教育目標を基本とし、アンケートやクラス懇談会の意見等も参考にしながら作成している。					
2	○指導計画の評価を定期的に行い、その結果を基に次の指導計画を改定している	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	月案・週案の自己評価をし、ワークミーティングで確認を行っている。反省や評価が、次の計画に生かされていない事があった。10分間の振り返りの時間にチーム内で共有するなどして、具体的に指導計画に反映されるようにしていきたい。					
3	○子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	職員が園庭や散歩コースの見回りを行い、毎日消毒を行う等、安全に遊べるように配慮した。園児の興味、発達に応じて環境の見直しをしたが、整理整頓(棚の上等)掃除が行き届いていない事や園用の布団の洗濯を忘れてしまう事があった。					
4	○子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	心掛けてはいるが、場合によって制止する言葉や待たせてしまう事があった。声がけの仕方や対応について、園児に寄り添ったものになるよう一人一人、より意識していきたい。					
5	○基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	園児のペースや個人の状況に応じて対応や援助を心掛けている。おもらしや嘔吐をした園児を伝える時「チェンジ」や「ヘルプ」など合言葉で伝えるようにしていく。					
6	○子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	昨年度の反省をもとに製作コーナーを充実させたり、園児の意見を積極的に聞きながら行事の内容を考えた。今後も自発性を大切にしながら、発達や成長に合わせた働きかけを心がけていきたい。					
7	○身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	散歩に出掛け自然に触れている。感染対策のため、公共機関を利用する機会は減ったが、年長が地域の方との収穫体験や根城祭りに参加した。自然物を使った飾りや製作等 小さいクラスも、もっと取り入れ季節感が感じられる工夫をしていきたい。					
8	○さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	3歳以上児は、製作や楽器、変身コーナーなど、自由に表現活動や音楽活動が行える環境を意識して取り入れていた。0、1、2歳児も、年齢や発達に合わせてながら、楽器に触れたり、クレヨンや粘土などに触れる機会をもっと増やしていきたい。					
9	○遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	☒	☐	☐	☐	☐
コメント	感染状況を見ながら当番活動やお手伝い保育を行った。園庭や散歩先などで異年齢の交流を行った。年齢や成長に合わせて、トラブルなども自分たちで解決できるよう、援助の仕方を工夫していきたい。					
10	○子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	☐	☒	☐	☐	☐
コメント	その都度場面に合わせて配慮をしている。サポートを必要とする園児への対応や、保護者へ理解してもらうような取り組み、文化の違いへの伝え方などもっと勉強していきたい。					

評 価 項 目		NO.4	A	B	C	D
11	○性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している		☒			
コメント	性差、子どもの発想、態度、言葉、服装、遊び方、職業、育児、家事など固定的な観念を植え付けるような対応をしていない。					
12	○乳児保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる		☒			
コメント	配慮に努めている。うつぶせ寝をさせないようにし、睡眠時はSIDSの確認を5分おきにしている。睡眠時の危険性について、定期的にミーティング等で確認も行っている。					
13	○長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる			☒		
コメント	朝早く登園する園児や、遅い迎えの園児への遊び場所や内容など、その時の状況に合わせてもっと工夫が必要だった。					
14	○障害児のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる			☒		
コメント	気になる園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画、嘱託医、桂堂学園と連携をとっている。障害に関わらず、一人一人を認め、気持ちに寄り添える関わりをしていきたい。また、情報を伝えるための取り組みも行っていきたい。					
Ⅵ子育て支援						
1	○一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている		☒			
コメント	希望した方は個別面談をする等、必要に応じて情報交換を行っている。帳面や送迎時に情報交換をしているが、11月までは保護者が園内に入らなかったため、対話の機会が少なかった。個別面談を増やすなどして対応すれば良かった。					
2	○家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている		☒			
コメント	児童票・見守るソフト等に記載している。また、必要に応じて相談記録ノートに記録し、会議等で共有している。ノートだと記入の仕方が統一されていなかったため、パソコン入力できるよう書式を作り、活用しやすくしていく。					
3	○園児の発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている			☒		
コメント	クラス懇談会の代わりにアンケートを取り、保護者の悩みや解決案について共有する取組を行った。行事の動画を配信できなかったため、次年度へ向けやり方を学んでいきたい。					
4	○虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている		☒			
コメント	令和4年度、虐待と思われる児童無し。健康観察チェックや着替えの際に体のチェックを行い、何かあれば速やかに園長に情報が届く体制になっている。					
5	○虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所などの関係機関照会 通告体制が整っている		☒			
コメント	マニュアルがあり、体制が整っている。関係機関の連絡先などワークルームに掲示している。					
6	○一時預かりは一人一人の子どもの心身の状態を考慮し通常保育との関連を配慮しながら行っている		☒			
コメント	健康チェックを行い、一人一人に合わせた保育を行っている。保護者の育児相談などの機会を設けていきたい。					
Ⅶ健康、保健						
1	○登所時や在園中の園児の健康管理は、マニュアル等があり園児一人一人の発育・発達状況 健康状態に応じて実施している		☒			
コメント	家庭で検温してもらい、毎朝視診をして、登園時に一人一人の様子を「健康観察チェック表」に記入している。毎月身長体重を測定し定期的にチェックを行っている。					
2	○健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		☒			
コメント	結果を保護者に伝えている。気になることや嘱託医からのアドバイスなどは職員間で共有している。					
3	○歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを教育・保育に反映させている		☒			
コメント	連絡帳に結果を貼り、園全体の結果についてもかわら版で伝えている。看護師が3、4、5歳児に歯磨きの話をしている。					
4	○感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している		☒			
コメント	マニュアルがあり定期的に確認している。看護師が発症状況・病気の内容・予防・配慮事項を会議などで伝えている。保護者へも玄関のボードやホームページで伝えている。					

	評 価 項 目	NO.5	A	B	C	D
Ⅷ安全・事故防止						
1	○調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて清潔に保つなど適切に実施されている		○			
コメント	水質調査を行っている。マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。トイレの手洗い場など、使う頻度の多い場所は職員一人一人が意識して、こまめに確認するようにしていきたい。					
2	○食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応については、全職員にも周知されている		○			
コメント	マニュアルがあり、園内研修をしている。食中毒について具体的に記載されたマニュアルに改定していきたい。					
3	○事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている	○				
コメント	けが記録簿をつけ、月1回 ワークミーティングで話し合いの場を設けている。月に1度園内外の安全点検チェックを行っている。また、事故防止委員が毎月散歩コースの確認を行い、危険箇所を会議で伝えみんなで情報を共有している。					
4	○事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	○				
コメント	マニュアルがあり、職員に配布されている。毎月避難訓練を行い、園内研修でもマニュアルの確認を行っている。					
5	○不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	○				
コメント	マニュアルがあり、訓練を行っている。具体的な対処方法などをマニュアルに新しく加え、対策を強化した。					

(改善できる点や改善方法)

ひよこ : ・指導計画の評価は、翌月へ活かされていない事があったので、リーダー同士で伝え合い、それを踏まえ計画を立てるようにする。
・季節ごとに計画を立て、自然物を取り入れた製作や装飾など行っていく。
・食育に関わる機会が少なかったので、0歳児なりに取り組める内容を考えていく。

つくし : ・気持ちに余裕が無くなりそうな時は、複数担任で行っているのでも互いにフォローし合いながら行っていく。
・職員間で意見を出し合いやすい環境を作るため、普段発言する機会の少ない職員へも声をかけ、一方的な発言にならないようにしていく。
・互いに協力し合えるよう、大丈夫そうな時であっても声をかけ気にかけていく。
・自分自身の園児への対応を振り返り、優しい声がけや対応を意識できるようにしていく。職員同士でもお互いに声を掛け合いながら、気付かせ合えるようにする。
・危険箇所を共有をし、かみつきやひっかき、ケガなどを未然に防ぐようにする。

たんぽぽ: ・地域の人と連携した取り組みが、コロナ渦であまりできなかったもので、今後はできる事から少しずつ取り組んでいく。
・園用の布団の洗濯を忘れることがあったので、週に1回行うようにする。
・保護者が園内へ入れるようになり、話せる機会は増えたが、行事が発表会のみになってしまったので、普段の様子を動画配信するなどしていきたい。

3・4・5歳児: ・虫歯予防に向け、歯磨きの大切さや磨き方など丁寧に伝えるようにしていく。
(月に1度歯磨きの確認の日を設ける)
・健康観察など個人情報を書かれている書類は、元の場所に戻す習慣をつける。
・水道を使用した際は、最後に職員が確認するようにし、その都度水滴など拭く習慣をつける。
・毎日の活動のドキュメンテーションの内容を、保育園の取り組みが伝わるような内容にしていく。

給 食 : ・感染症などが拡大した時期に食育の話が出来なかったので、給食の時間などに少しずつでも伝えていけば良かった。
・食育やクッキングの時など、イラストや資料を準備し園児にも分かりやすいように伝えていきたい。
・身体測定の記録を食事の計画や肥満防止などに反映できるよう、情報発信していきたい。
・書類の提出がギリギリになってしまったので、手分けしながら取り組んでいきたい。

一時預かり・子育て支援

・一時預かりを利用する子は、慣れない環境に泣いてしまう事が多いので、安心して過ごせるよう応答的な関わりをこれからも行っていきたい。
・コロナの感染拡大により広場を休まなければならない事があった。少人数にしたり、現状を伝えたりしながら安心して利用してもらえるようにしていきたい。

令和5年 1 月 日、25日、26日に職員参加で実施した。
令和5年 2 月 28 日 記 録 : 若江真瞳花(主幹保育教諭)